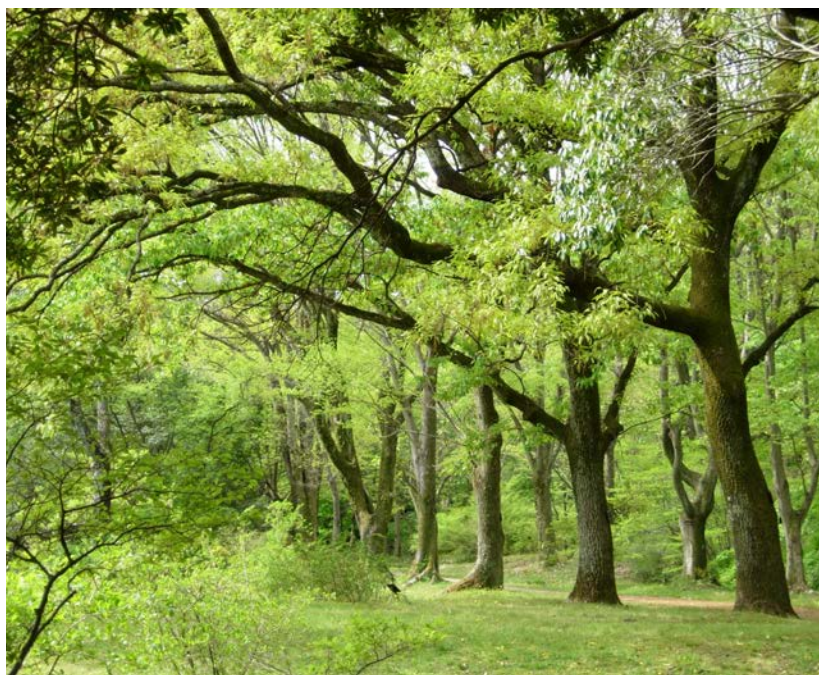


大阪市立大学理学部附属植物園

森の植物 ガイドブック



目次

1	はじめに	34	カツラ	62	トチノキ
2	樹林型	35	カラマツ	63	トネリコ
7	本書の見方	36	キハダ	64	トベラ
8	エリアマップ	37	クスノキ	65	ナギ
10	アオキ	38	クヌギ	66	ナラガシワ
11	アカガシ	39	クリ	67	ネジキ
12	アカシデ	40	クロガネモチ	68	ネムノキ
13	アカマツ	41	クロベ	69	ハウチワカエデ
14	アスナロ	42	ゲッケイジュ	70	ハマヒサカキ
15	アベマキ	43	コウヤマキ	71	ハマビワ
16	アラカシ	44	コナラ	72	バリバリノキ
17	イスノキ	45	コハウチワカエデ	73	ハルニレ
18	イタヤカエデ	46	コバノミツバツツジ	74	ヒサカキ
19	イチイガシ	47	コブシ	75	ヒノキ
20	イヌガシ	48	コメツガ	76	ヒメシャラ
21	イヌガヤ	49	サカキ	77	ヒメユズリハ
22	イヌブナ	50	サワグルミ	78	ブナ
23	イヌマキ	51	シナノキ	79	ホオノキ
24	イロハモミジ	52	シラカシ	80	マサキ
25	ウバメガシ	53	シラビソ	81	マテバシイ
26	ウラジロガシ	54	シリブカガシ	82	ミズナラ
27	ウラジロモミ	55	スギ	83	ムクノキ
28	エゴノキ	56	スダジイ	84	モチノキ
29	エノキ	57	ソヨゴ	85	モミ
30	オガタマノキ	58	タブノキ	86	ヤブツバキ
31	オニグルミ	59	ツガ	87	ヤブニッケイ
32	カゴノキ	60	ツクバネガシ	88	ヤマモモ
33	カタクリ	61	ツブラジイ		

はじめに

大阪市立大学理学部附属植物園（大阪市大植物園）は1950年に設立され、今年70周年を迎えました。当園の特色の1つは、日本各地のバイオーム（生物群系）が展示されていることです。

バイオームは高校教科書にも取り上げられる重要な概念ですが、日本中に散らばるバイオームを実際に観察することはままなりません。その点、大阪市大植物園は日本を代表する11種類の森林（樹林）を復元・展示しており、バイオームやその構成樹種をまとめて観察することが可能です。これは、「温量指数（暖かさの指数）」や「最終収量一定の法則」などで知られる植物生態学者の吉良竜夫（大阪市立大学名誉教授）が当園を設計したことによります。「群系の観点で日本の植生を復元する」という独創的なアイデアのもと、日本を代表する11の樹林型（照葉樹林5エリア；落葉樹林3エリア；針葉樹林3エリア）が生態展示されています。これらの樹林は、網羅的かつ効率的に体験するフィールドとして非常に優れており、かつ樹林内に生息する生物の生態系も観察することができます。また、緯度や標高に応じた植生分布を再現した日本産樹木見本園は、園路に沿って常緑樹、落葉樹、針葉樹の順に植栽されており、山を登っていくように植生の垂直分布を体感できます。外国産樹木を大陸ごとに植栽したエリアもあり、バイオームの違いを学ぶこともできます。

本書は、園内の樹林型および日本産樹木見本園で樹木を観察する際の参考に使っていただくために作成しました。とくに高校生に活用してもらえよう、高校教科書でよく扱われている樹種を掲載しました。本書を手に園内でバイオームを体感していただき、その構成樹種の観察を楽しんでいただければ幸いです。



樹林型

気候帯	樹林型	優占構成種	構成種
暖温帯	海岸型 照葉樹林	ウバメガシ、トベラ、シャリンバイ、マサキ、ハマヒサカキ	ハマナツメ、マルバニッケイ、ハマビワ、ヒメユズリハ、タブノキ、イヌマキ、ナギ
	タブ型 照葉樹林	タブノキ、クスノキ、マテバシイ、アオガシ、ヤマモモ	ヤブニッケイ、バリバリノキ、イヌガシ、スダジイ、カゴノキ、オガタマノキ、ナギ、イヌマキ
	低地カシ型 照葉樹林	イチイガシ、ツクバネガシ、イスノキ、シリブカガシ、スダジイ、ツブラジイ	イヌガシ、ヒメユズリハ、リンボク、ハイノキ属、サカキ、ヤブツバキ、モッコク、シキミ
	シイ型 照葉樹林	ツブラジイ、スダジイ、アラカシ、シラカシ	ウラジログシ、ウバメガシ、ヤマモモ、サカキ、モチノキ属
	高地カシ型 照葉樹林	ウラジログシ、シラカシ、アカガシ、アラカシ	ヒサカキ、サカキ、ヤブツバキ、モミ、ツガ、アカマツ
	暖帯型 落葉樹林	クスギ、コナラ、クリ、アベマキ、ナラガシワ、イヌシデ、アカシデ	ヤシャブシ、ハンノキ、ネムノキ、エゴノキ、ムクノキ、エノキ、アラカシ、アカマツ
	アカマツ型 針葉樹林	アカマツ	クロマツ、クリ、コナラ、ヒサカキ、ソヨゴ、ネジキ、コバノミツバツツジ
	モミ・ツガ型 針葉樹林	モミ、ツガ	クリ、コナラ、シデ属、イヌブナ、アカガシ、ウラジログシ、スギ
冷温帯	ヒノキ・サワラ型 針葉樹林	ヒノキ、サワラ、スギ	クロベ、アスナロ、ウラジロモミ、アカマツ、ミズナラ、トチノキ
	温帯南部型 落葉樹林	ケヤキ、ミズナラ、ブナ、トチノキ、ホオノキ、オニグルミ、サワグルミ	イヌブナ、コブシ、キハダ、ハナカマド、ナナカマド、トネリコ、ウラジロモミ、イヌガヤ
	温帯北部型 落葉樹林	イタヤカエデ、シナノキ、カシワ、カツラ、ハルニレ	アカイタヤ、オヒョウ、ヤチダモ、ミズナラ、エゾヤマザクラ、アサダ

1. 海岸型照葉樹林（ウバメガシ・トベラ型）

ウバメガシ、トベラなどを主とし、九州、四国、本州の照葉樹林帯の海岸地方に分布する常緑広葉樹林である。ウバメガシ、トベラ、シャリンバイ、マサキなど、乾燥した土壌や潮風に耐えることができる、小型の硬い葉や厚い葉をもつ低木が多いのが特徴である。夏に乾燥する地中海地方のオリブやコルクガシなどで構成される硬葉樹林と似ているが、多雨気候下の日本の海岸型照葉樹林とは区別される。

2. タブ型照葉樹林（タブ・クス型）

タブノキ、クスノキなどを主とするこの型の森林は、照葉樹林帯の海岸に近い低地や山地、排水のよい沖積地や台地の、斜面下部の適潤で土壌の深い地域に分布する。丸くモクモクと盛り上がった球面のような樹冠が特徴であり、夏に雨の多い日本の暖温帯林の代表的な森林である。このタブ型の森林をはじめ、カシ型、シイ型の照葉樹林は、世界中で東アジア暖温帯の湿潤気候下にのみ分布し、構成樹種の豊富さ、立体構造の複雑さは熱帯多雨林につぐ。日本の文化は、この照葉樹林の分布する地域から発達したことは有名である。

3. 低地カシ型照葉樹林（カシ・シイ型）

日本のカシ型の森林は、イチイガシやツクバネガシなどを主とする平地の低地カシ型と、ウラジログシやシラカシなどを主とする山地の高地カシ型の森林に大きく分けることができる。低地カシ型の森林は、照葉樹林の中でももっとも広く分布し、主として近畿より西の湿潤な環境に分布していたが、他の低地の照葉樹林と同じように人間により切り拓かれて、二次林化、農地化、都市化して、もとの面影をとどめる森林はきわめて少ない。

4. シイ型照葉樹林（カシ・シイ型）

ツブラジイ、スダジイ、アラカシなどを主とするこの型の森林は、照葉樹林帯の中で地形的に排水がよく、土壌が比較的乾燥する場所に分布し、湿潤な環境を好むカシ型の森林と棲み分けている。シイ型の森林は、ツブラジイ型とスダジイ型の2型に分かれるが、一般にツブラジイ型は内陸的であり、スダジイ型は海岸寄りに多い。また、シイ型の森林は、かつては近畿や中国地方の平地にも広く分布していたが、その大部分は農耕地や人間の居住地域となり、現在では残された社寺林などにその面影をみることができる。

5. 高地カシ型照葉樹林（カシ・シイ型）

ウラジログシ、シラカシ、アカガシなどを主とし、照葉樹林帯の比較的土壌水分に富んだ内陸部の山地の斜面に分布し、九州の高地、近畿、中国地方の山地に多くみられる。照葉樹林帯の山地の中で、低い所には低地カシ型がみられ、その上部の森林が、この高地カシ型の森林となるのが普通である。また、一部はシイ型の樹林の上部においてもみられる。

6. 暖帯型落葉樹林（クヌギ・コナラ型）

クヌギ、コナラ、シデ属（アカシデ、イヌシデ）などを主とする暖帯型落葉樹林は、普通は冬の寒さのために照葉樹林が生育できない地域、また夏の暑さのために冷温帯落葉樹林が生育できない暖温帯の低山地に広く分布する。日本の森林帯の特徴である中間帯の森林の1つである。クヌギ、コナラ、アベマキ、シデ属などの雑多な樹種から成り立ち、日本の里山の景観をつくっている。しかし、このような里山地域の都市近郊では開発の対象となることが多く、ゴルフ場や宅地などに変わり、クヌギ・コナラ型の森林が少なくなりつつある。本園のクヌギ・コナラ型の樹林は二次植生である。

7. アカマツ型針葉樹林（アカマツ・クロマツ型）

アカマツ型の天然の森林は、花崗岩地帯の乾燥した尾根筋や急傾斜地に小面積で分布していたと推定され、現在、九州南部から東北地方にまでみられる二次植生とするアカマツ林の分布よりもずっと狭いと考えられる。現在ではアカマツ型の森林は、照葉樹林の成り立つべき暖温帯の山麓から低山地にかけて広く分布し、照葉樹林帯に現存する森林植生では、クヌギ・コナラ型の森林と並ぶ日本の代表的な二次植生である。なお、園内の山地はアカマツ、コナラなどが優占する二次混交林であり、たびたび樹木が伐採されたことによって生じた。

8. モミ・ツガ型針葉樹林

モミ、ツガなどを主とするモミ・ツガ型の森林は、表日本の暖温帯中部の主体をなす照葉樹林と、冷温帯下部の落葉広葉樹林との間の表日本の中間帯に分布する。また、一般的に太平洋岸ではツガ林が多く、内陸部ではモミ林がよく発達する。このようにモミ・ツガ型の森林は表日本型中間帯の代表的な針葉樹林である。裏日本ではモミ・ツガ型の森林の分布はみられない。

9. ヒノキ・サワラ型針葉樹林

暖温帯から冷温帯にかけて分布し、日本の代表的な有用材であるスギ、ヒノキの天然林はこの型に属する。スギ林、ヒノキ林には天然性であるか、人為的に成立したものであるかが明らかでないものが多い。木曽五木として有名なヒノキ、サワラ、アスナロ、クロベ（ネズコ）、コウヤマキの森林もこの型に属する。

10. 温帯南部型落葉樹林（ブナ・ミズナラ型）

ブナ、ミズナラなどを主とする温帯南部型の落葉樹林は、ブナ帯と呼ばれる日本の冷温帯林を代表する森林である。ブナが優占種の位置をしめているが、ミズナラ、ケヤキ、トチノキ、ホオノキ、オニグルミ、カツラ、カエデ属など多様な樹種から成り立っている。本園の温帯南部型の落葉樹林は、暖温帯から冷温帯への移行帯に分布するケヤキの優占する森林をモデルとしているので、冷温帯性のブナ林とはやや違った景観を示している。また、日本のブナ林は、表日本型と裏日本型に分けることができるが、表日本型の特徴は林床にササ類をとまなうことである。

11. 温帯北部型落葉樹林（シナノキ・イタヤカエデ型）

シナノキ、イタヤカエデなどを主とする温帯北部型の落葉樹林は、北海道の冷温帯に分布する。冷温帯林の代表樹種であるブナを含まない森林であり、シナノキ、イタヤカエデ、ミズナラ、ハルニレ、ハリギリなどから成り立ち、多分に亜寒帯性要素に富む落葉樹林である。この森林は、北朝鮮から中国東北部へかけての大陸気候下の温帯落葉樹林と類似しているのが特徴である。

12. 日本産樹木見本園

日本各地にはそれぞれの気候条件に応じていろいろな姿の森林があり、その森林をつくっている植物は樹木だけで約 600 種ある。このうち代表的なもの約 250 種を常緑広葉樹、落葉広葉樹、針葉樹の順で植栽している。これらの樹木の樹の形、葉の形、樹の肌、花や実などの特徴から日本の樹木の名前を覚えることができる。

本書の見方



1. 和名・学名・目名・科名・属名
「改訂新版 日本の野生植物（平凡社）」に準拠。

2. 特徴
「開花期」は園内の開花時期を掲載した。未調査の種は図鑑を参照した。

3. 樹林型・植栽エリア
構成する樹林型と園内の植栽エリアを示した。「*」がついているエリアで観察できる。無印の樹種は、その他のエリアに植栽されている。

◎：樹林型の優占構成種
○：樹林型の構成種
*：植栽あり（2020 年 5 月現在）

4. 写真
園内で撮影した写真を掲載した。一部は園外で撮影した写真を用いた。撮影部位と撮影時期を示した。

参考資料

- ・「改訂新版 日本の野生植物 1－5」（平凡社）
- ・「樹に咲く花（離弁花 1，離弁花 2，合弁花・単子葉・裸子植物）」（山と溪谷社）
- ・「ミニガイドブック No. 29 裸子植物 イチョウ・ソテツ・球果をつける仲間」（大阪市立自然史博物館）
- ・「植物園の概要 創設 20 周年をむかえて」（大阪市立大学理学部附属植物園）
- ・「植物園の花ガイド」（大阪市立大学理学部附属植物園 OB 会）
- ・「図説 植物用語事典」（八坂書房）

大阪市立大学理学部附属植物園
エリアマップ (2020 年 5 月現在)



アオキ

Aucuba japonica Thunb. var. *japonica*

アオキ目 アオキ科 アオキ属

被子植物

常緑

低木

開花期：3 - 5 月

照葉樹林内に生育するほか、明るい雑木林などでも見られる。葉は対生し、粗い鋸歯があり、革質で光沢をもつ。雌雄異株で、果実は秋ごろ赤く熟し、翌春まで残る。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
*								*			*



雄花 (4月)



雄花 (3月)



雌花 (4月)



果実 (1月)

アカガシ

Quercus acuta Thunb.

ブナ目 ブナ科 コナラ属

被子植物

常緑

高木

開花期：5 - 6 月

暖温帯の山地のやや標高の高い地域（暖温帯上部）で極相林を形成する。葉は全緑（まれに上半分に鋸歯）で長い葉柄をもつ。殻斗には鱗片が癒合した環状の縞模様がある。樹皮はなめらかで、亀甲状にはがれる。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
				◎*			○				*



雄花 (5月)



果実 (11月)



果実 (11月)



葉 (11月)

アカシデ

Carpinus laxiflora (Siebold et Zucc.) Blume

ブナ目 カバノキ科 シデ属

被子植物

落葉

高木

開花期：4－5月

照葉樹林（暖温帯）と夏緑樹林（冷温帯）の中間（暖温帯上部）の森林を構成する樹種で、谷筋などに生育する。樹皮は平滑で暗灰白色。葉は重鋸歯をもち、若い枝や葉は赤色を帯びる。雌雄同株。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
					◎*		○*		*		*



雄花（3月）



樹皮（12月）



果実（11月）



葉（5月）

アカマツ

Pinus densiflora Siebold et Zucc.

マツ目 マツ科 マツ属

裸子植物

常緑

高木

開花期：4－5月

代表的な先駆樹種で、乾燥した尾根筋や二次林などに多い。短枝に2枚の葉が束になってつく（二葉松）。葉が柔らかく、先端を触ってもクロマツのように痛くない。樹皮は赤褐色で縦長の亀甲状にはがれる。雌雄同株。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
						◎*		○			



樹形（3月）



樹皮（11月）



雄花（5月）



雌花（5月）



球果（5月）

アスナロ

Thujopsis dolabrata (L. f.) Siebold et Zucc. var. *dolabrata*

ヒノキ目 ヒノキ科 アスナロ属

裸子植物

常緑

高木

開花期：5月

冷温帯に分布し、山地の尾根や湿原に生育する。葉は鱗片状で十字対生し、表面は光沢のある濃緑色、裏面は白色の気孔帯が目立つ。雌雄同株。樹皮は細長い薄片状にはがれる。材質が良いため建築材として利用される。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
								○			*



葉（表面；4月）



樹皮（11月）



葉（裏面；4月）



葉（裏面；4月）

アベマキ

Quercus variabilis Blume

ブナ目 ブナ科 コナラ属

被子植物

落葉

高木

開花期：4 - 5月

暖温帯の二次林を代表する樹種で、クヌギよりも温暖な気候を好む。葉は側脈が突き出た針状の鋸歯があり、裏面は星状毛が密生して灰白色（クヌギは無毛）。殻斗は細長い鱗片をもつ。樹皮は縦に割れ、コルク層がよく発達する。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
					◎						*



花（4月）



葉（裏面；5月）



冬芽（1月）



果実（3月）



果実（7月）

アラカシ

Quercus glauca Thunb.

ブナ目 ブナ科 コナラ属

被子植物

常緑

高木

開花期：4 - 5月

乾燥地で生育可能なため、暖温帯に広く分布し、落葉樹林内でもみられる。葉は上半分に粗い鋸歯をもち、裏面は絹毛があり白色を帯び（灰緑色）、葉柄は長い。殻斗には鱗片が癒合した環状の縞模様がある。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
*	*	◎*	◎*	◎*	○*	*	*	*	*	*	*



冬芽（3月）



雄花（4月）



果実（5月）



果実（11月）

イスノキ

Distylium racemosum Siebold et Zucc.

ユキノシタ目 マンサク科 イスノキ属

被子植物

常緑

高木

開花期：4 - 5月

亜熱帯から暖温帯に生育する。1つの花序に両性花と雄花をつける。花弁はなく、雄しべと雌しべが赤色で目立つ。アブラムシが寄生し、葉や枝に虫こぶができる。日本産樹木の中では最も重くて硬い材の1つ。別名ヒョンノキ。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
◎*	*	◎*	*	*	*	*	*	*	*	*	*



花（4月）



両性花（4月）



果実（10月）



虫こぶ（5月）

イタヤカエデ

Acer pictum Thunb.

ムクロジ目 ムクロジ科 カエデ属

被子植物

落葉

高木

開花期：4－5月

冷温帯の山地に生育する。イタヤカエデは、エンコウカエデやオニイタヤなどの亜種・品種からなる分類群の総称名。葉身は3－9裂片に分かれ、葉縁に鋸歯をもたない。1つの個体に両性花と雄花をつける（雄性同株）。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
									*	◎*	*



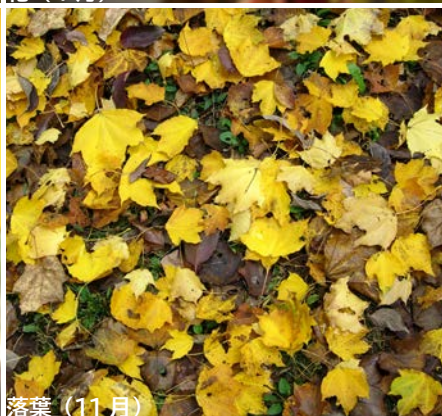
花（4月）



花（4月）



果実（11月）



落葉（11月）

イチイガシ

Quercus gilva Blume

ブナ目 ブナ科 コナラ属

被子植物

常緑

高木

開花期：4－5月

暖温帯の肥沃な扇状地などに分布する。葉の上半分に鋭い鋸歯があり、裏面は星状毛が密生して黄褐色。殻斗には鱗片が癒合した環状の縞模様がある。樹皮は薄片状にはがれる。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
											*



雄花（5月）



樹皮（11月）



冬芽（3月）



葉（裏面；11月）



果実（11月）

イヌガシ

Neolitsea aciculata (Blume) Koidz.

クスノキ目 クスノキ科 シロダモ属

被子植物

常緑

高木

開花期：3 - 4 月

耐寒性・耐陰性が強く、暖地の山林に自生する。葉は枝先に集まってつき、全縁で3本の脈が目立つ。葉の裏面は灰白色。雌雄異株。暗紅色の花被をもつ花が密集してつく。果実は黒紫色で10 - 11月に熟す。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
	○*	○	*	*							*



雄花 (3月)



果実 (10月)



葉 (11月)



葉 (11月)

イヌガヤ

Cephalotaxus harringtonia (Knight ex Forbes) K. Koch var. *harringtonia*

ヒノキ目 イチイ科 イヌガヤ属

裸子植物

常緑

小高木

開花期：3 - 4 月

冷温帯に分布する。樹皮は暗灰褐色で細長い薄片状にはがれる。葉の先は短くとがるが触っても痛くない（カヤは痛い）。裏面に白色の気孔帯が2条ある。雌雄異株で、種子は10月に紅紫色に熟す。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
									○		*



つぼみ (11月)



樹皮 (11月)



葉 (11月)



葉 (裏面; 11月)

イヌブナ

Fagus japonica Maxim.

ブナ目 ブナ科 ブナ属

被子植物

落葉

高木

開花期：4 - 5 月

冷温帯に分布し、ブナより標高の低い所に生育する。葉は波状の鈍い鋸歯があり、裏面は葉脈に沿って軟毛をもつ、樹皮はいぼ状の皮目を多数もつ（ブナはなめらか）。果実は3つの稜があり、基部は殻斗に包まれる。冬芽は細長い。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
							○		○*		



葉 (11 月)



葉 (11 月)



葉 (裏面；11 月)



冬芽 (2 月)

イヌマキ

Podocarpus macrophyllus (Thunb.) Sweet

ナンヨウスギ目 マキ科 マキ属

裸子植物

常緑

高木

開花期：5 - 6 月

耐陰性が高く、亜熱帯・暖温帯の海岸に近い山地に生育する。葉は線形で主脈が目立つ。雌雄異株で、雄花は葉腋に束生し、雌花は単生する。種子は緑色の皮（套皮）に包まれて成熟し、赤色の花托は甘い。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
○	○*										*



種子 (11 月)



雌花 (5 月)



雄花 (5 月)



種子 (12 月)

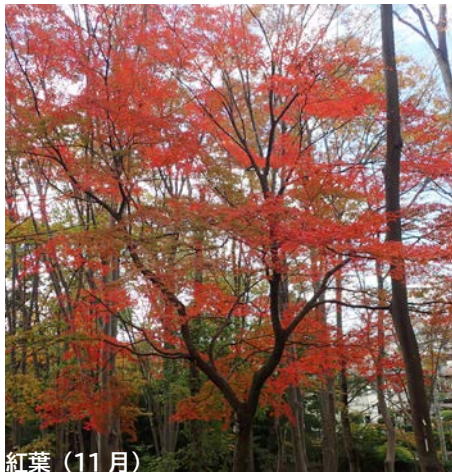
イロハモミジ

Acer palmatum Thunb.
ムクロジ目 ムクロジ科 カエデ属

被子植物 落葉 高木 開花期：4－5月

暖温帯に分布する落葉樹で、溪谷や谷筋の斜面などに生育する。葉身は掌状に5－7深裂し、鋭い重鋸歯がある。花序に雄花と両性花が混生する。和名は葉の裂片を「いろはにほへと」と数えたことに由来するとされる。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
					○*				*		*



紅葉（11月）



花（3月）



花・果実（4月）



果実（11月）

ウバメガシ

Quercus phillyreoides A. Gray
ブナ目 ブナ科 コナラ属

被子植物 常緑 小高木 開花期：4－5月

暖温帯の海岸部などに生育する。葉の上半分に浅い鋸歯があり、裏面は無毛で淡緑色。殻斗には鱗片が重なったうろこ模様がある。樹皮は縦に割れ目が入る。備長炭の原料で、生垣などにも利用される。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
◎*	*		○	*							*



雄花（4月）



雌花（4月）



果実（10月）



果実（11月）

ウラジロガシ

Quercus salicina Blume

ブナ目 ブナ科 コナラ属

被子植物

常緑

高木

開花期：4 - 5 月

暖温帯の山地のやや標高の高い地域（暖温帯上部）で極相林を形成する。葉の上半分に鋭い鋸歯があり、裏面は粉白色。殻斗には鱗片が癒合した環状の縞模様がある。樹皮はなめらか。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
*		*	○	◎*			○				*



雄花（4月）



果実（11月）



葉（11月）



葉（裏面；11月）

ウラジロモミ

Abies homolepis Siebold et Zucc.

マツ目 マツ科 モミ属

裸子植物

常緑

高木

開花期：5 月

山地帯の上部に生育し、上部はシラビソ（亜高山帯）、下部はモミと接する。樹皮は灰褐色でうろこ状にはがれる。葉の先端は2つに割れる。若い枝が無毛で葉の裏面の気孔帯が目立つ点でモミと異なる。雌雄同株。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
								○	○		*



葉（4月）



樹皮（5月）



葉（11月）



葉（裏面；11月）

エゴノキ

Styrax japonicus Siebold et Zucc.

ツツジ目 エゴノキ科 エゴノキ属

被子植物

落葉

小高木

開花期：5 月

山地の谷間などで普通に見られる。葉は互生し、浅い鋸歯をもつ。白い花が垂れ下がつて咲く。星状毛で覆われた大小 2 つの冬芽がつく。アブラムシの仲間が寄生して虫えいをつくることがある。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
					○*			*		*	*



花 (5 月)



冬芽 (2 月)



虫えい (6 月)



果実 (6 月)

エノキ

Celtis sinensis Pers.

バラ目 アサ科 エノキ属

被子植物

落葉

高木

開花期：4 - 5 月

暖温帯に分布し、日当たりの良い適潤地や沿海地に生育。葉は互生、裏面がざらつく。上半分に鋸歯があり、葉脈は鋸歯まで達しない（ムクノキの鋸歯は基部まであり葉脈が達する）。両性花と雄花をつける。オオムラサキの食草。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
		*			○*				*	*	*



樹形 (11 月)



花 (4 月)



葉 (裏面；5 月)



果実 (11 月)

オガタマノキ

Magnolia compressa Maxim. var. *compressa*

モクレン目 モクレン科 モクレン属

被子植物

常緑

高木

開花期：2 - 4 月

暖地の沿岸部などに分布する。日本に自生するモクレン科では唯一の常緑樹（タイサンボクは北米原産）。葉は革質で全縁，花芽は褐色の毛に覆われる。「オガタマ」は招霊のことで，神社の境内に植えられ神事に用いられる。

海岸	タブ	低地 カシ	シイ	高地 カシ	暖帯	アカ マツ	モミ・ ツガ	ヒノキ・ サワラ	温帯 南部	温帯 北部	見本園
	○*		*								*



花（4月）



果実（7月）



花（3月）



種子（10月）

オニグルミ

Juglans mandshurica Maxim. var. *sachalinensis* (Komatsu) Kitam.

ブナ目 クルミ科 クルミ属

被子植物

落葉

高木

開花期：5 - 6 月

冷温帯の川沿いなど湿気の多い場所に生育する。葉は羽状複葉で細かい鋸歯をもつ。冬芽は褐色の短毛が密生し，葉痕は維管束の跡が目立つ。雌雄同株で，雄花序は前年枝の葉腋から下垂し，雌花序は新枝の先端に直立する。

海岸	タブ	低地 カシ	シイ	高地 カシ	暖帯	アカ マツ	モミ・ ツガ	ヒノキ・ サワラ	温帯 南部	温帯 北部	見本園
									◎	*	*



葉（4月）



冬芽（12月）



果実（12月）



冬芽（4月）

カゴノキ

Litsea coreana H. Lév.

クスノキ目 クスノキ科 ハマビワ属

被子植物

常緑

高木

開花期：8－9月

暖温帯の照葉樹林内に生育する。葉は互生し、全縁、裏面は灰白色を帯びる。雌雄異株で、黄色の小さい花が葉腋に密生する。樹皮が鹿の子まだらにはがれ落ちることから「鹿子の木」の名がつく。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
*	○		*								*



雄花（9月）



雄花（9月）



樹皮（4月）



葉（裏面；11月）

カタクリ

Erythronium japonicum Decne.

ユリ目 ユリ科 カタクリ属

被子植物

多年草

草本

開花期：3－4月

夏緑樹林の林床など、早春に日当たりの良い場所に生育する。種子が発芽して開花するまで7－8年を要する。ハチにより送粉され、アリにより種子が散布される。片栗粉は元々カタクリの鱗茎から抽出されたデンプンである。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
					*						



花（3月）



花（3月）



花（3月）



花（3月）

カツラ

Cercidiphyllum japonicum Siebold et Zucc. ex Hoffm. et Schult.

ユキノシタ目 カツラ科 カツラ属

被子植物

落葉

高木

開花期：4 月

冷温帯の山地，とくに谷沿いに生育する。葉はハート形で葉縁に鈍い鋸歯をもつ。長枝と短枝があり，長枝では葉が対生し，短枝では葉が1枚つく。雌雄異株で，花はがくや花弁をもたない。秋になると黄葉した葉が甘い芳香を放つ。

海岸	タブ	低地 カシ	シイ	高地 カシ	暖帯	アカ マツ	モミ・ ツガ	ヒノキ・ サワラ	温帯 南部	温帯 北部	見本園
								*	○*	◎*	*



葉（4月）



雄花（3月）



雌花（3月）



雌花（3月）

カラマツ

Larix kaempferi (Lamb.) Carrière

マツ目 マツ科 カラマツ属

裸子植物

落葉

高木

開花期：5 月

標高の高い寒冷地に生育するほか，荒地や氾濫原などに侵入する先駆植物。マツ科では珍しく秋に黄葉し冬に落葉する。長枝と短枝をもち，葉は線形で柔らかい。雌雄同株で，雄花は下向き，雌花は上向きにつく。

海岸	タブ	低地 カシ	シイ	高地 カシ	暖帯	アカ マツ	モミ・ ツガ	ヒノキ・ サワラ	温帯 南部	温帯 北部	見本園
----	----	----------	----	----------	----	----------	-----------	-------------	----------	----------	-----



球果（12月）



葉（4月）



雄花（4月）



冬芽（2月）

キハダ

Phellodendron amurense Rupr. var. *amurense*

ムクロジ目 ミカン科 キハダ属

被子植物

落葉

高木

開花期：5－7月

山地の沢沿いの林内に生育する。葉は奇数羽状複葉で対生し、葉痕は側芽を取り囲む。雌雄異株。果実は9－10月に黒く熟す。樹皮の内側は黄檗と呼ばれる、健胃剤（陀羅尼助）や黄色染料に用いられる。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
								*	○*	*	*



雄花（5月）



葉痕（1月）



果実（11月）



黄檗（11月）

クスノキ

Cinnamomum camphora (L.) J. Presl

クスノキ目 クスノキ科 クスノキ属

被子植物

常緑

高木

開花期：5－6月

暖温帯から亜熱帯に分布するが、古くから植えられてきたため、九州以北のものが野生であるのか不明。樹皮は細かく縦列する。葉は三行脈が目立ち、揉むと芳香がする。防虫剤や医薬品の原料となる樟脳が採取される。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
*	◎*		*								*



花（5月）



花（5月）



果実（11月）



花（5月）

クヌギ

Quercus acutissima Carruth.

ブナ目 ブナ科 コナラ属

被子植物

落葉

高木

開花期：4－5月

暖温帯に分布し、照葉樹林から遷移が進行して成立した二次林を構成する。葉は側脈が突き出た針状の鋸歯があり、裏面は無毛で淡緑色（アベマキは灰白色）。殻斗は細長い鱗片をもつ。樹皮は縦に割れ目が入る。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
					◎						*



花（4月）



冬芽（12月）



果実（7月）



果実（10月）



雄花（4月）

クリ

Castanea crenata Siebold et Zucc.

ブナ目 ブナ科 クリ属

被子植物

落葉

高木

開花期：6月

暖温帯から冷温帯の丘陵から山地に広く分布する。葉は平面的に互生し、全体に針状の鋸歯がある。1－3個の果実が針状のとげをもつ殻斗（いが）に包まれる。花序は多数の雄花と基部につく雌花から構成される。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
					◎	○*	○				



花（5月）



花（5月）



果実（7月）



果実（10月）

クロガネモチ

Ilex rotunda Thunb.

モチノキ目 モチノキ科 モチノキ属

被子植物

常緑

高木

開花期：5 - 6 月

西日本の暖地に多く生え、街路樹などにも利用される。若い枝や葉柄が黒紫色になる。雌雄異株で、1つの柄に数個の花が集まった花序をつくる点でモチノキと異なる。果実は赤色に熟す。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
			○*								*



雌花 (5 月)



雌花 (5 月)



若い果実



樹皮 (11 月)

クロベ

Thuja standishii (Gordon) Carrière

ヒノキ目 ヒノキ科 クロベ属

裸子植物

常緑

高木

開花期：5 月

本州の亜高山帯に多く分布し、コメツガ、ウラジロモミ、トウヒ、ブナ、ミズナラなどと混生する。樹皮は赤褐色で縦裂して薄くはがれる。葉は鱗片状で十字対生し、裏面の気孔帯は灰白色が目立たない。雌雄同株。別名ネズコ。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
								○			*



葉 (5 月)



樹皮 (5 月)



葉 (裏面；5 月)

ゲッケイジュ

Laurus nobilis L.

クスノキ目 クスノキ科 ゲッケイジュ属

被子植物

常緑

中高木

開花期：4 月

地中海沿岸などに分布し、明治時代にフランスから渡来した。葉は互生し、厚くて硬い。雌雄異株で、葉腋に淡黄色の花をつける。葉や果実に芳香があり、葉はスパイスとして利用される。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
----	----	------	----	------	----	------	-------	---------	------	------	-----



雄花 (4 月)



雄花 (4 月)



雄花 (4 月)



雄花 (4 月)

コウヤマキ

Sciadopitys verticillata (Thunb.) Siebold et Zucc.

ヒノキ目 コウヤマキ科 コウヤマキ属

裸子植物

常緑

高木

開花期：4 月

暖温帯上部や冷温帯の山地の岩場に生育する。幹が直立して枝を水平に張り、円錐形の樹形となる。小型の鱗片葉がつく長枝と、2 枚の葉が合着した針葉がつく短枝からなる。雌雄同株で、球果は翌年の秋に熟す。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
----	----	------	----	------	----	------	-------	---------	------	------	-----

○

*



茎葉 (5 月)



雄花 (4 月)



雄花 (4 月)



球果 (4 月)

コナラ

Quercus serrata Murray subsp. *serrata* var. *serrata*

ブナ目 ブナ科 コナラ属

被子植物

落葉

高木

開花期：4－5月

暖温帯から冷温帯に分布し、照葉樹林から遷移した二次林の代表的な構成樹種。葉は全体に鋭い鋸歯があり、裏面は絹毛が生え灰白色を帯び、明瞭な葉柄をもつ。殻斗には鱗片が重なったうろこ模様がある。樹皮は縦に割れる。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
*		*		*	◎*	○*	○*	*	*	*	*



花 (4月)



冬芽 (11月)



果実 (10月)



樹皮 (5月)

コハウチワカエデ

Acer sieboldianum Miq.

ムクロジ目 ムクロジ科 カエデ属

被子植物

落葉

高木

開花期：5－6月

冷温帯の夏緑樹林の構成樹種で高さ 15 m に達する。花は淡黄色で、花序に雄花と両性花を混生する。葉柄や花柄、花序軸に毛がある。果実の翼は水平に開く。ハウチワカエデに似ているが、葉が小さい。別名イタヤメイゲツ。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
										*	*



花 (4月)



葉 (5月)



果実 (5月)



紅葉 (11月)

コバノミツバツツジ

Rhododendron reticulatum D. Don ex G. Don

ツツジ目 ツツジ科 ツツジ属

被子植物

落葉

低木

開花期：3－4月

海岸から丘陵の日当たりの良い二次林に多く見られる。葉は広卵形。両面とも無毛だが、若葉の頃には表面に長毛、裏面に軟毛をもつ。葉の展開前または展開時に枝先の1個の花芽から1－2個の紅紫色の花を咲かせる。

海岸 タブ 低地カシ シイ 高地カシ 暖帯 アカマツ モミ・ツガ ヒノキ・サワラ 温帯南部 温帯北部 見本園

○



花 (3月)



冬芽 (1月)



花 (3月)



葉 (2月)

コブシ

Magnolia kobus DC. var. *kobus*

モクレン目 モクレン科 モクレン属

被子植物

落葉

高木

開花期：3－4月

丘陵から山地の日当たりの良い適潤な肥沃地に生育する。冬芽には軟毛が密生し、早春に白色の大きな花を咲かせる。雄しべと雌しべはらせん状につく。葉は倒卵形で先端が少し突き出る。和名は果実のでこぼこを拳に例えたもの。

海岸 タブ 低地カシ シイ 高地カシ 暖帯 アカマツ モミ・ツガ ヒノキ・サワラ 温帯南部 温帯北部 見本園

○

*



花 (3月)



果実 (10月)



花 (3月)



葉 (11月)

コメツガ

Tsuga diversifolia (Maxim.) Mast.

マツ目 マツ科 ツガ属

裸子植物

常緑

高木

開花期：6月

ツガより高い標高（亜高山帯）あるいは高緯度（亜寒帯）に分布し、シラビソやオオシラビソと共に優占種となることが多い。樹皮は灰褐色で浅く縦裂し、鱗片状にはがれる。ツガと比べて葉や球果が小さく、若い枝に短毛がある。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
											*



葉（11月）



葉（裏面；11月）



樹皮（11月）

サカキ

Cleyera japonica Thunb.

ツツジ目 サカキ科 サカキ属

被子植物

常緑

小高木

開花期：6－7月

照葉樹林の代表的な構成樹種の1つ。枝の先端の冬芽は下方の芽より大きく、先がとがって鳥の爪状に曲がる。葉は互生し、全縁（ヒサカキは鋸歯がある）、裏面は主脈のみ目立つ。神社の境内によく植えられ、枝葉を神事に使う。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
*		○*	○*	○*				*			*



花（6月）



花（6月）



果実（12月）



冬芽（12月）

サワグルミ

Pterocarya rhoifolia Siebold et Zucc.

ブナ目 クルミ科 サワグルミ属

被子植物

落葉

高木

開花期：4－6月

冷温帯（山地帯）の湿潤で肥沃な谷沿いなどに生育する。葉は互生し、奇数羽状複葉で細鋸歯をもつ。雌雄同株で、雄花と雌花は別々に花序を形成する。雌花序は新枝の先から、雄花序は葉腋から垂れ下がる。果実は翼をもつ。

海岸	タブ	低地 カシ	シイ	高地 カシ	暖帯	アカ マツ	モミ・ ツガ	ヒノキ・ サワラ	温帯 南部	温帯 北部	見本園
								*	◎		



雄花（4月）



冬芽（2月）



葉（4月）



葉（裏面；11月）

シナノキ

Tilia japonica (Miq.) Simonk. var. *japonica*

アオイ目 アオイ科 シナノキ属

被子植物

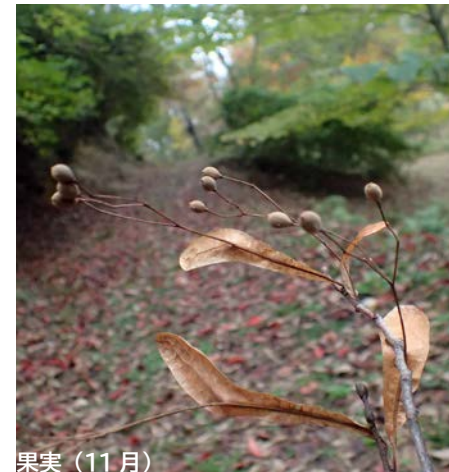
落葉

高木

開花期：6－7月

冷温帯に分布し、山地の尾根から溪流沿いまで広い範囲に生育する。樹皮は縦に浅く裂ける。葉はハート形、先端は尾状に伸び、鋭い鋸歯がある。多数の花をつけた花序の基部に細長いへら状の総苞をもつ。

海岸	タブ	低地 カシ	シイ	高地 カシ	暖帯	アカ マツ	モミ・ ツガ	ヒノキ・ サワラ	温帯 南部	温帯 北部	見本園
									*	◎	*



果実（11月）



樹皮（11月）



葉（5月）



冬芽（12月）

シラカシ

Quercus myrsinifolia Blume

ブナ目 ブナ科 コナラ属

被子植物

常緑

高木

開花期：4－5月

暖温帯の照葉樹林を構成する樹種の1つ。樹皮はなめらか。葉は細長い卵形(披針形)、上半部に浅い鋸歯があり、裏面は淡緑色。殻斗には鱗片が癒合した環状の縞模様がある。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
		*	◎*	◎*							*



果実 (11月)



樹皮 (11月)



若い果実 (6月)



葉 (11月)

シラビソ

Abies veitchii Lindl. *veitchii*

マツ目 マツ科 モミ属

裸子植物

常緑

高木

開花期：5－6月

本州・四国の亜高山帯の針葉樹林の主要な構成樹種。コメツガ、オオシラビソ、トウヒなどと混生したり、純林を形成したりする。樹皮は細かい鱗状。葉の先端はわずかに2つに割れ、裏面に白色の気孔帯がある。雌雄同株。別名シラベ。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
											*



葉 (11月)



葉 (裏面; 11月)



冬芽 (4月)



樹皮 (2月)

シリブカガシ

Lithocarpus glaber (Thunb.) Nakai

ブナ目 ブナ科 オニガシ属

被子植物

常緑

高木

開花期：9月

暖温帯の山地の乾燥した場所に生育。葉は全緑（または上部に粗い鋸歯），裏面は銀灰色。果実は基部がへこみ，紫褐色，表面をこすると光沢を帯びる。殻斗は鱗片が重なったうろこ模様。樹皮はなめらか。秋に開花する。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
	*	◎		*							*



果実（10月）



雄花（9月）



花序（5月）



果実（3月）



果実（12月）

スギ

Cryptomeria japonica (L. f.) D. Don var. *japonica*

ヒノキ目 ヒノキ科 スギ属

裸子植物

常緑

高木

開花期：3 - 4月

本来は暖温帯上部から冷温帯の山地の沢沿いなどに生育するが，植林により広く分布する。樹皮は細長い薄片状にはがれる。葉は針形でらせん状につく。雌雄同株で，球果は秋に熟す。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
		*					◎*	◎*			*



葉（4月）



樹皮（4月）



雄花（10月）



球果（11月）

スダジイ

Castanopsis sieboldii (Makino) Hatus. ex T. Yamaz. et Mashiba subsp. *sieboldii*

ブナ目 ブナ科 シイ属

被子植物

常緑

高木

開花期：5 月

暖温帯の照葉樹林の代表的な構成樹種で、海岸近くに生育する（ツブラジイは内陸に生育）。葉は上半分に鋸歯があり（または全縁）、葉柄が短く、表皮組織が2層。殻斗は果実全体を覆い、成熟すると裂開する。樹皮は縦に割れる。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
○	◎	◎*									*



花（5月）



冬芽（3月）



雌花（5月）



雄花（5月）



果実（10月）

ソヨゴ

Ilex pedunculosa Miq.

モチノキ目 モチノキ科 モチノキ属

被子植物

常緑

高木

開花期：5 - 7 月

山地の乾いた林内や林縁などに生える。葉縁は鋸歯がなく波打つ。雌雄異株で、新しく伸びた枝の葉腋に雄花序または雌花をつける。花は白色で小さい。果実は赤色で10 - 11月に熟す。樹皮は灰褐色で皮目が多い。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
*		*	*	*	*	○*	*		*		



雄花（5月）



樹皮（11月）



雄花（5月）



果実（11月）

タブノキ

Machilus thunbergii Siebold et Zucc.

クスノキ目 クスノキ科 タブノキ属

被子植物

常緑

高木

開花期：4－5月

暖温帯の海岸近くに生育し、西日本では内陸部にも分布する。葉は革質で全縁，互生して枝先に集まってつく。新葉の展開時に枝先に円錐花序を出し，黄緑色の小さな花をつける。果実は黒色に熟す。冬芽は卵形で大きい。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
○*	◎*		*								*



花（4月）



冬芽（11月）



花（4月）



果実（6月）

ツガ

Tsuga sieboldii Carrière

マツ目 マツ科 ツガ属

裸子植物

常緑

高木

開花期：4－6月

暖・冷温帯の丘陵や山地の痩せ地に生育する。コメツガより低地・低緯度に分布し，しばしばモミと混生する。葉の先端はへこみ，葉柄が茎に沿うように枝につく（モミは吸盤状）。若い枝が無毛な点でコメツガと区別される。雌雄同株。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
							◎*				*



球果（8月）



葉（10月）



球果（1月）



葉（裏面；11月）

ツクバネガシ

Quercus sessilifolia Blume

ブナ目 ブナ科 コナラ属

被子植物

常緑

高木

開花期：5月

暖温帯の山地の谷間や沢沿いの急斜面に多い。葉の先端に浅い鋸歯がある。裏面は淡緑色で葉柄は短い。殻斗には鱗片が癒合した環状の縞模様がある。樹皮はなめらか。葉が枝先に集まってつく様子が羽根つきの羽根に似る。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
		◎		*							*



冬芽 (11月)



樹皮 (4月)



果実 (11月)



果実 (10月)

ツブラジイ

Castanopsis cuspidata (Thunb.) Schottky

ブナ目 ブナ科 シイ属

被子植物

常緑

高木

開花期：5 - 6月

暖温帯の照葉樹林の構成樹種で、海岸沿いに生育するスダジイより内陸に分布。葉は全縁（または上半部に鋸歯）、葉柄が短く、表皮組織が1層。殻斗は果実全体を覆い、成熟すると裂開する。樹皮は縦に割れ目が入る。別名ゴジイ。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
		◎	◎*	*							*



花序 (4月)



果実 (11月)



雄花 (6月)



果実 (11月)

トチノキ

Aesculus turbinata Blume
ムクロジ目 ムクロジ科 トチノキ属

被子植物

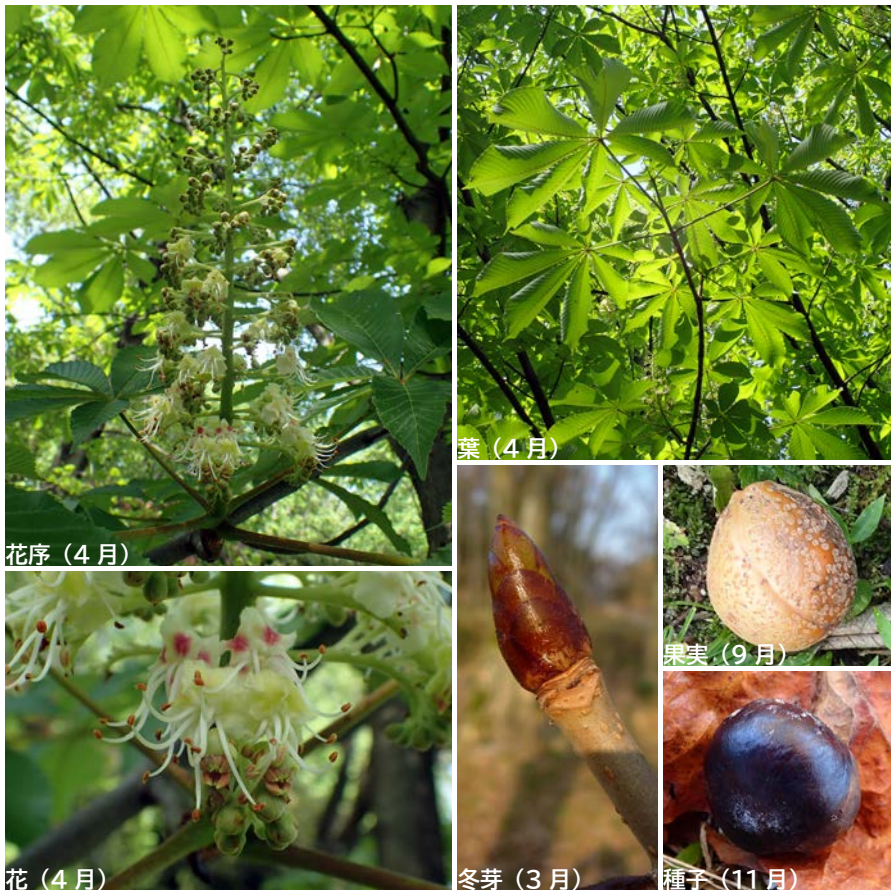
落葉

高木

開花期：5 月

冷温帯に分布し、山地の溪流沿いに生育する。葉は 5－9 枚の小葉からなる掌状複葉。冬芽は樹脂に覆われ光沢がある。両性花と雄花からなる花序が直立する。大型の種子はネズミなどの運搬・貯蔵活動により散布される。

海岸	タブ	低地 カシ	シイ	高地 カシ	暖帯	アカ マツ	モミ・ ツガ	ヒノキ・ サワラ	温帯 南部	温帯 北部	見本園
								○	◎*	*	*



トネリコ

Fraxinus japonica Blume ex K. Koch
シソ目 モクセイ科 トネリコ属

被子植物

落葉

高木

開花期：4－5 月

山地の湿地に生育する。樹皮は暗灰色で縦に割れ目が入る。葉は小葉が 5－9 枚からなる奇数羽状複葉で、対生する。雌雄異株。花は花弁がなく、雄花は雄しべのみ、雌花は雌しべのみ、または不稔の雄しべをもつ。

海岸	タブ	低地 カシ	シイ	高地 カシ	暖帯	アカ マツ	モミ・ ツガ	ヒノキ・ サワラ	温帯 南部	温帯 北部	見本園
									○*		*



トベラ

Pittosporum tobira (Thunb.) W. T. Aiton

セリ目 トベラ科 トベラ属

被子植物

常緑

低木

開花期：5 月

暖地の海岸林などに生育し、下部からよく分枝する。葉は枝先に密に互生し、全縁（シャリンバイは鋸歯あり）、縁が裏側に巻くことがある。雌雄異株で、花は芳香を放つ。果実は熟すと3裂し、赤色で粘性のある種子を露出させる。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
◎*											*



雌花（5月）



雄花（5月）



果実（12月）



葉（11月）

ナギ

Nageia nagi (Thunb.) Kuntze

ナンヨウスギ目 マキ科 ナギ属

裸子植物

常緑

高木

開花期：5 - 6 月

樹皮はなめらかで紫褐色、鱗片状にはがれてまだら模様になる。葉は対生し、楕円形で20 - 30本の平行脈が走り、革質で厚い。雌雄異株。神木として神社の境内によく植えられる。山口県が自生の北限とされる。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
○*	○*										*



幼木（12月）



雄花（5月）



雌花（6月）



種子（11月）

ナラガシワ

Quercus aliena Blume
ブナ目 ブナ科 コナラ属

被子植物

落葉

高木

開花期：4 - 5月

葉は全体に波状の鋸歯があり、裏面は灰白色、葉柄はミズナラより長い。殻斗には鱗片が重なったうろこ模様がある。樹皮は縦に割れ目が入る。日本以外にも東アジア・東南アジアの暖温帯に分布する。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
					◎ *				*		*



葉 (5月)



樹皮 (11月)



果実 (11月)



冬芽 (12月)

ネジキ

Lyonia ovalifolia (Wall.) Drude var. *elliptica* (Siebold et Zucc.) Hand.-Mazz.
ツツジ目 ツツジ科 ネジキ属

被子植物

落葉

小高木

開花期：5 - 7月

丘陵から山地の乾燥した尾根や斜面に生育する。樹皮の縦の裂け目が旋回するようにねじれるのが特徴。冬芽や葉柄、若枝は赤みを帯びる。葉は互生、鋸歯はなく葉縁は波打ち、裏面はやや光沢を帯びる。筒形の白花をつり下げる。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
						○					*



樹皮 (4月)



花 (5月)



果実 (11月)



葉柄 (5月)

ネムノキ

Albizia julibrissin Durazz. var. *julibrissin*

マメ目 マメ科 ネムノキ属

被子植物

落葉

高木

開花期：6－7月

河岸などやや湿った日当たりの良い場所に生育する。葉は偶数羽状複葉で、葉柄の基部に密腺がある。花は枝先に10－20個が集まった頭状花序となる。和名は、夜に葉を閉じて眠ったようになること（就眠運動）に由来。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
----	----	------	----	------	----	------	-------	---------	------	------	-----

○

*



花（6月）



果実（11月）



つぼみ（6月）



花（7月）

ハウチワカエデ

Acer japonicum Thunb.

ムクロジ目 ムクロジ科 カエデ属

被子植物

落葉

高木

開花期：4－5月

冷温帯，または低山帯から亜高山帯下部に分布し，山地の谷間や斜面など夏緑樹林内に生育する。葉は対生，掌状に9－11裂して重鋸歯がある。雄花と両性花を1つの花序につける。果実は翼をもち，7－9月に熟す。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
----	----	------	----	------	----	------	-------	---------	------	------	-----

○

*

*



葉（4月）



花（4月）



新芽（4月）



若い果実（4月）

ハマヒサカキ

Eurya emarginata (Thunb.) Makino var. *emarginata*

ツツジ目 サカキ科 ヒサカキ属

被子植物

常緑

小高木

開花期：11月

暖地の海岸に生え、よく分枝し、風衝地では匍匐する。葉は互生し、鋸歯があり、小型で厚い革質。雌雄異株で葉腋に鐘状の白い花をつける。ヒサカキとは異なり、葉先は丸いかややへこみ、秋に開花する。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
◎*											*



雌花 (11月)



雌花 (11月)



果実 (12月)



葉 (11月)

ハマビワ

Litsea japonica (Thunb.) Juss.

クスノキ目 クスノキ科 ハマビワ属

被子植物

常緑

高木

開花期：9 - 11月

葉は革質で厚く、表面は無毛で光沢があり、全縁。葉の裏面や葉柄、花序には黄褐色の綿毛を密生する。雌雄異株。果実は翌年の春に成熟する。和名は、暖地の沿海地に生え、葉がビワに似るため。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
○	*										*



雄花 (9月)



冬芽 (1月)



果実 (4月)



葉 (11月)

バリバリノキ

Actinodaphne acuminata (Blume) Meisn.

クスノキ目 クスノキ科 バリバリノキ属

被子植物

常緑

高木

開花期：8月

暖地の山中などに生える陰樹で、適潤な谷間を好む。葉は枝の上部に集まって互生し、薄い革質で葉縁が波打ち、葉脈が裏面に隆起する。和名は、長い葉が風に揺れて鳴る音に由来するとされる。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
	○*										*



葉（4月）



展開中の冬芽（4月）



冬芽（12月）



樹皮（11月）

ハルニレ

Ulmus davidiana Planch. var. *japonica* (Rehder) Nakai

バラ目 ニレ科 ニレ属

被子植物

落葉

高木

開花期：4－5月

冷温帯の河畔林に多く生育するが、九州では低標高域に分布する。樹皮は灰褐色で、縦に割れ目が入る。葉は互生し、基部が左右非対称で重鋸歯をもつ。葉の展開前に黄緑色の花をつける。果実は翼をもち、5－6月に熟す。

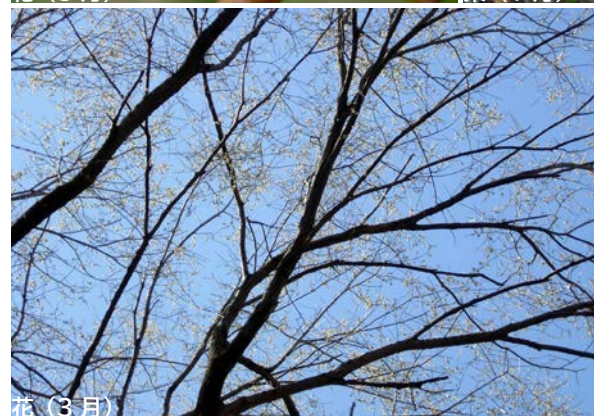
海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
									*	◎	*



花（3月）



葉（7月）



花（3月）



果実（4月）

ヒサカキ

Eurya japonica Thunb.

ツツジ目 サカキ科 ヒサカキ属

被子植物

常緑

小高木

開花期：3 - 4 月

山地の林床に生える。葉は互生し、革質で光沢があり、鋭い鋸歯をもつ。葉先は鈍く突出し、ハマヒサカキのように丸くならない。葉腋に白い花を下向きにつける。雌雄異株。秋に紫黒色の果実をつける。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
*	*	*	*	○*	*	○	*	*			*



雄花 (3 月)



雄花 (3 月)



雌花 (3 月)



果実 (11 月)

ヒノキ

Chamaecyparis obtusa (Siebold et Zucc.) Endl.

ヒノキ目 ヒノキ科 ヒノキ属

裸子植物

常緑

高木

開花期：4 月

葉は鱗片状で十字対生し、裏面の白色の気孔群が Y 字状となる。雌雄同株。材は建築用として最良とされ、法隆寺や東大寺などの随所に使われている。樹皮は今も社寺の屋根葺き材料として重要である。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
		*					*	◎*			*



葉 (表面; 11 月)



葉 (裏面; 11 月)



球果 (11 月)



樹皮 (5 月)

ヒメシャラ

Stewartia monadelphpha Siebold et Zucc.

ツツジ目 ツバキ科 ナツツバキ属

被子植物

落葉

高木

開花期：6－8月

暖温帯上部から冷温帯に分布し、ブナ林によく生える。樹皮は赤褐色、平滑で鱗片状にはがれる。葉は互生し、浅い鋸歯をもつ。花は葉腋に生じて上向きに咲く。果実は白い毛に覆われる。白毛に覆われた扁平な冬芽をつける。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
									○*		*



花（6月）



樹皮（9月）



果実（3月）



葉（11月）



冬芽（1月）

ヒメユズリハ

Daphniphyllum teijsmannii Zoll. ex Kurz

ユキノシタ目 ユズリハ科 ユズリハ属

被子植物

常緑

高木

開花期：5月

海岸林の主要な樹種の1つで、亜熱帯から暖温帯に分布する。冬芽はほっそりして先がとがる（ユズリハは丸い卵形）。葉は枝先に集まってつく傾向がある。雌雄異株で、花は小さな萼をもつが、花弁をもたない。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
○	*	○									



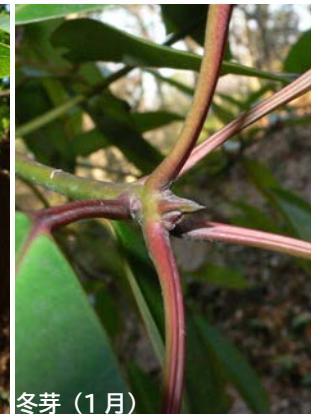
雄花（6月）



果実（11月）



葉（11月）



冬芽（1月）

ブナ

Fagus crenata Blume

ブナ目 ブナ科 ブナ属

被子植物

落葉

高木

開花期：5月

北海道から九州に分布する，冷温帯（山地帯）の夏緑樹林の代表樹種。樹皮は灰白色，なめらかで割れ目がない。葉は波状の鈍い鋸歯があり，裏面は無毛。果実は3つの稜があり，細長い鱗片をもつ殻斗に覆われる。冬芽は細長い。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
									◎*		*



葉（7月）



葉（4月）



葉（12月）



冬芽（2月）

ホオノキ

Magnolia obovata Thunb.

モクレン目 モクレン科 モクレン属

被子植物

落葉

高木

開花期：5～6月

暖温帯上部から冷温帯の山地に生える。葉は大型の単葉，互生して枝の上方に集まってつく。花は強い芳香を放ち，枝先について上向きに咲き，多数の雄しべと雌しべがらせん状に並ぶ。材は細工物や家具などに利用される。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
									◎*	*	*



花（4月）



落葉（11月）



花（5月）



葉（4月）

マサキ

Euonymus japonicus Thunb. f. *japonicus*

ニシキギ目 ニシキギ科 ニシキギ属

被子植物

常緑

低木

開花期：6－7月

葉は対生で、厚く光沢があり、鈍い鋸歯をもつ。葉腋から花序を生じ、緑白色の花を多数つける。果実は紅色に熟して裂開し、橙赤色の仮種皮に包まれた種子がぶら下がる。海岸付近の林内に生え、生垣や庭木に利用される。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
◎*											*



花 (6月)



花 (6月)



葉 (11月)



冬芽 (2月)

マテバシイ

Lithocarpus edulis (Makino) Nakai

ブナ目 ブナ科 オニガシ属

被子植物

常緑

高木

開花期：6月

亜熱帯から暖温帯の沿岸地に生育する。樹皮はなめらか。葉は大型で先端の方が幅広く、全縁、裏面は無毛で淡緑色。殻斗は鱗片が重なったうろこ模様。果実は基部がへこみ黄褐色で、渋みがなく食べられる。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
◎*			*								*



花 (6月)



葉 (11月)



果実 (11月)

ミズナラ

Quercus crispula Blume var. *crispula*

ブナ目 ブナ科 コナラ属

被子植物

落葉

高木

開花期：5月

ブナとともに日本の冷温帯（山地帯）を代表する樹種で、二次林を構成し、尾根筋や乾いた斜面に生育する。葉は全体に粗い波状の鋸歯があり、葉柄は短い。殻斗には鱗片が重なったうろこ模様がある。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
								○	◎*	○*	



果実（9月）



樹皮（9月）



果実（9月）



幼植物（9月）

ムクノキ

Aphananthe aspera (Thunb.) Planch.

バラ目 アサ科 ムクノキ属

被子植物

落葉

高木

開花期：5月

暖地の沿海地などに生育。樹皮は灰褐色で滑らか。葉は互生し、両面に短剛毛があり、触るとざらつく。葉の基部まで鋸歯があり、葉脈が鋸歯に達する点でエノキと異なる。雌雄同株で果実は甘い。葉は研磨用に利用される。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
					○*				*		*



葉（5月）



花（4月）



花（4月）



果実（11月）

モチノキ

Ilex integra Thunb.

モチノキ目 モチノキ科 モチノキ属

被子植物

常緑

高木

開花期：4 月

暖温帯の照葉樹林を構成し、海岸に近い山地に生育する。樹皮は灰白色で滑らか。葉は厚い革質で裏面の脈が目立たない。雌雄異株で、花は前年に伸びた枝の葉腋に生じる（クロガネモチは花序になる）。樹皮から鳥もちが作られる。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
*			○*								*



果実（4 月）



樹皮（11 月）



雌花（4 月）



雌花（4 月）

モミ

Abies firma Siebold et Zucc.

マツ目 マツ科 モミ属

裸子植物

常緑

高木

開花期：5 月

海岸近くの丘陵からブナ帯上部まで分布してツガ、カヤ、アカマツなどと混生し、上部でウラジロモミと接する。葉のつけ根は吸盤状となり、葉の先端は 2 つに割れて鋭くとがる（カヤは割れずにとがる）。若い枝に毛がある。雌雄同株。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
							◎*	*			*



葉（4 月）



雄花（4 月）



球果（1 月）



種子（1 月）



葉（裏面；4 月）

ヤブツバキ

Camellia japonica L. var. *japonica*

ツツジ目 ツバキ科 ツバキ属

被子植物

常緑

高木

開花期：2－4月

暖温帯照葉樹林の亜高木層から低木層の主要な構成種で、沿海地に多く分布する。樹皮は灰白色で滑らか。葉は厚くて光沢があり、細かな鋸歯をもつ。多数の雄しべは合着して筒状となり、底に多量の蜜液を分泌して鳥類を誘引する。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
	*	○		○*					*		*



葉 (11月)



果実 (11月)



花 (3月)



花 (3月)

ヤブニツケイ

Cinnamomum yabunikkei H. Ohba

クスノキ目 クスノキ科 クスノキ属

被子植物

常緑

高木

開花期：5－7月

暖温帯の低地の森林に自生する。樹皮は灰黒色で滑らか。葉は互生し、三行脈が目立つが、側方の2本の脈は先端に達する前に消失する。葉や樹皮はシナモンに似た甘い香りがする。果実は10－11月に黒紫色に熟す。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
	○*	*	*	*							*



花 (6月)



果実 (11月)



花 (5月)



冬芽 (12月)



樹皮 (5月)

ヤマモモ

Morella rubra Lour.

ブナ目 ヤマモモ科 ヤマモモ属

被子植物

常緑

高木

開花期：4 月

亜熱帯から暖温帯に分布する。葉は全縁（幼木では鋸歯をもつ）、裏面は淡緑色、互生で枝先に集まってつく。雌雄異株で、果実は 6 月頃に赤く熟す。樹皮は下痢止めの生薬（楊梅皮）や褐色の染料に使われる。

海岸	タブ	低地カシ	シイ	高地カシ	暖帯	アカマツ	モミ・ツガ	ヒノキ・サワラ	温帯南部	温帯北部	見本園
◎			○*	*							*



茎葉（11 月）



果実（6 月）



雄花（4 月）



雌花（4 月）

謝辞

岡田博氏（大阪市立大学名誉教授）と塚腰実氏（大阪市立自然史博物館外来研究員）には園内の植物の写真をご提供いただきました。大洞浩一氏と山脇和也氏には園外での写真撮影にご協力いただきました。

本書を出版するにあたり、公益財団法人日本教育公務員弘済会より平成 31 年度日教弘本部奨励金の助成を受けました。

大阪市立大学理学部附属植物園

森の植物ガイドブック

2020 年 5 月 31 日 初版発行

編集者 厚井 聡（大阪市立大学理学部附属植物園）

発行者 大阪市立大学理学部附属植物園

〒576-0004 大阪府交野市私市 2000

© 大阪市立大学理学部附属植物園

